



公益財団法人

つなぐいのち基金

令和5年度（2023年12月1日～2024年11月30日）事業報告書

作成日：2025.01.21



昨年度事業における課題と今年度の取り組み

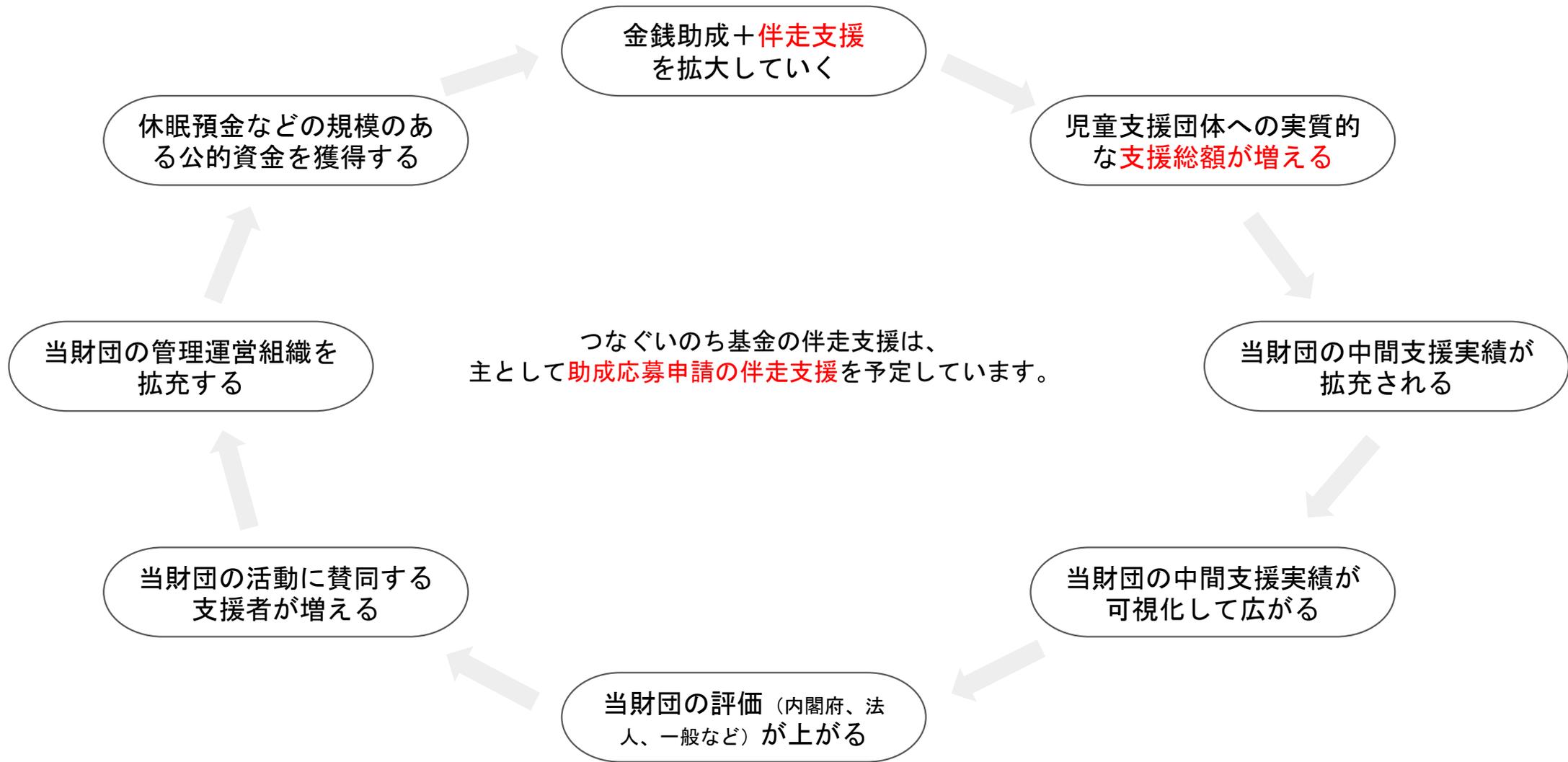
- ・ 社会に対する提供価値の総量が比較的に小さい。
- ・ 助成原資の確保が限定的である。
- ・ 運営事務局のキャパシティー拡充が困難。
- ・ 中間支援から直接支援活動への必要性上昇。



① 児童支援活動団体の事業運営資金調達伴走支援を並行して行うことで、児童支援活動団体の活動をより強く支援していく。

② 児童支援活動団体・企業・行政との共催イベントを開始することで、つなぐいのち基金の資源不足を補完し、より社会への貢献度を高めていく。

③ 行政と連携した伴走支援コンテンツを作成及び普及をもって、効率が高く広がりのある支援活動を増やしていく。





児童の健全な育成と自立に向けた中間支援活動を進めています。

継続

① つなぐ助成

: 小規模&新規活動団体を中心に、小回りの効く少額助成を実施

継続

② 長谷川基金助成

: 社会的養護施設を巣立つ児童&若者に対する新生活支援を実施

新規

③ わくわくPJ

: 児童支援活動に企業支援をつなぐ事で、子供・若者が社会と繋がる経験を創り出す活動を実施

強化

④ 伴走支援

: 小規模&新規活動団体を中心に、活動資金調達の支援を実施

令和5年度は上記4つの活動をを中心に活動を進めました。



つなぐ基金助成、冠基金事業：助成事業の概要

■公募期間

- ・ 2024年4月15日～2024年6月末（例年より長い期間を設けました）

令和5年度	つなぐ基金	長谷川基金
仮エントリー	94件	7件
本エントリー	52件	5件
事業予算	305万円	100万円
対象事業数	10団体	5施設（9名）予定

* 審査員もよく知らない応募団体が多く当財団の情報アプローチ力が高くなってきているのが素晴らしい。（田邊審査員）

* 助成申請団体に対する活動調査が非常に細かく具体的で良かった。（篠原理事）

* つなぐ基金で採択できなかった団体を長谷川基金を活用して支援できるまでラインナップが増えてきて良かった。今後も長谷川基金で支援を継続していきたい。（事務局）



長谷川基金助成の事業報告：川奈臨海学園さま



長谷川基金 - 生活家電支援

高校を卒業し、学園を巣立つ子どものために何かできることはないか、様々な助成や制度を調べる中で公益財団法人つなぐいのち基金様に出会いました。つなぐいのち基金様は高齢者と子どもなどの多世代間をつなぎ、相互扶助の関係を推進する中で次の世代へよりよい社会をつないでいくことを目的とされている中間支援団体です。つなぐいのち基金様に寄せられた様々な資源・支援は助成事業等を通して子どもたちに届けられています。

その助成事業の中に、児童養護施設等を巣立つ子どもたちへ家電セットをプレゼントするという長谷川基金助成がありました。採用は名程度の狭き門、しかし一人で巣立つ子どもへ持たせられるものは持たせてあげたい、そんな思いで応募しました。そしてこの度ご縁を頂き、洗濯機・冷蔵庫・炊飯器・電子レンジ・掃除機の新家電5点を頂くことができました。令和6年春に退所し、自立生活を始めた退園生のもとを訪問した際、使用状況を見させていただきました。冷蔵庫には自炊のために使う食材、冷凍庫には炊飯器で炊いたご飯が保存されていました。洗濯機を見に行くと「回そうと思ってたんだ」と言いながら、スイッチを入れ、洗濯洗剤を量って入れる姿がありました。その他の家電も日々の生活の中で活躍していました。新生活を迎え、慌ただしい毎日を送っているようですが、頂いた家電を大事に使わせて頂き、感謝の中で充実した日々を過ごせることを願っています。

川奈臨海学園 自立支援担当職員 石井 結希



つなぐ基金助成、冠基金事業：事業執行額の推移

■助成執行額の推移

令和2年度 265万円

令和3年度 340万円

令和4年度 500万円

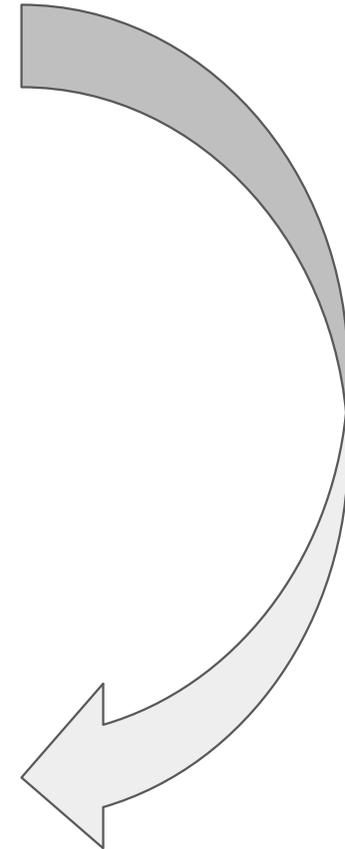
令和5年度 400万円

+クラウドファンディング（000万円目標）で10月1日から実施予定

+資金調達支援額約 1,830 万円 超

→ 合計 約 **2,200万円 + α** のソーシャルインパクトを実現。

*児童支援活動における社会的インパクトが大きくなってきています。





伴走支援事業の現況

① 児童支援活動団体の事業運営資金調達伴走支援

- ・ 目標値：500万円
- ・ **実績：1、830万円**（一般財団法人日本民間公益活動連携機構JANPIA1,500万円、板橋区330万円）

② 児童支援活動団体・企業との共催イベント開催

- ・ 企業と児童支援団体をつないで「おしるこイベント」を開催（**日本橋榮太樓本舗様**と連携中）
- ・ 企業と協働した新規支援基金の設立を準備中（**ソニー銀行様**と連携中）
- ・ 企業と協働した地域イベントの開催（和菓子の**梅香亭様**と連携中）

③ 行政と連携した伴走支援コンテンツの作成と普及

- ・ 非営利児童支援活動団体の助成応募の手引きコンテンツ作成中（**横浜市政策局経営推進課**と調整中）



公益財団法人つなぐいのち基金

作成者: Joe MinGi



・5日

当財団が2年目の伴走支援を行っている東京都板橋区所在の小さな子ども食堂です。ご高齢の店主が長年貯金を崩して活動を維持してきた話を聞き、当財団で行政からの補助金申請を手伝わせて頂きました。今では安定的な運営ができています。今年子ども食堂補助金申請も来月の8月末に控えているので、またお手伝いさせて頂く予定です。



資金調達伴走支援



板橋子ども食堂

5日

今年は本当に暑いですね。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。板橋子ども食堂がある蓮根地区は、生活に困窮した母子家庭も多く、定期的に母子家庭の方々をお招きして私が作った手料理を食べながら同じ境遇の方向士での意見交換や情報交換、相談もして頂いています。下記はその、先日開催した母子家庭の日の写真です。

今回はウナギの蒲焼が... さらに表示

330万円／2年（2024年中に確定した総額）



公益財団法人つなぐいのち基金

作成者: Joe MinGi



・6月25日

当財団が伴走支援を行っているNPO法人KUSCとのプロジェクトを紹介させて頂きます。昭和45年、西暦1970年から入居が始まった神奈川県横浜市の竹山団地。

今、この竹山団地で子供&若者、そして高齢者が主役になって町を元気にしていく活動を始めています。どんなハンデを抱えていようとも、自分らしく社会に貢献でき、人に感謝され、自己実現が叶い、経済的にも自立することのできる環境を作っていきます。



READYFOR.JP

子供から若者、高齢者まで、多世代交流による地域見守り機能の強化を支援しています。 / 子供たちの明日に、あなたの想いを託してください...

1500万円／2024年度



公益財団法人つなぐいのち基金

作成者: Joe MinGi

・6日

連日 板橋子ども食堂 さんの活動紹介になっています。地域密着の支援活動を続けていると、次々と地域の想いが繋がり、支援が行き渡ようになってきます。このように「人の想いをつなぐ」役割を大事にして、今後より広げていきたいと思ます。



イベント共同開催



板橋子ども食堂

6日

■和菓子ナイト開催のお知らせ

2024年8月5日（月）は暑い時間帯を少し避けて夕方6時から、いい材料で丁寧に作った美味しい和菓子を無償でご提供します。子ども食堂で食べてもよし、持ち帰って夕食後家で食べてもよし。甘いお菓子で夏の疲れを吹き飛ばしましょう。

このイベントは、昭和33年創業の板橋区のと菓子店「梅香亭」様の... さらに表示





資金調達伴走支援による新規拠点





新規取組「わくわくPJ」の開始

●概要

： 想いある企業や児童支援活動団体と共に、子供・若者たちが信頼できる大人と社会とのつながりを持つことのできる機会を創っていく事で、子供・若者が明日に希望を持って夢にチャレンジできるような安心と勇気を支援します。

●背景

： 児童支援事業における多くの活動資金助成や補助制度は、最低限の生活と安全の確保や、進学・就労を条件としていることが多いです。しかし、心の不安などの何らかの社会的ハンデを抱える子どもたちは、明日に向けて一歩踏み出すにも安心できる環境や頼れる大人、明日への希望とチャレンジする勇気が芽生えてこそ、はじめて進学や就職に向けて頑張ることができるようになります。

●内容

： 社会貢献活動と児童支援に想いある企業や団体と協力して、日本全国の児童支援団体と一緒に子どもたちに楽しい体験を届けます。子どもたちの心を癒すと共に社会とのつながりを強くすることで子どもたちの健全な自立を応援していきます。2024年10月からは初回のPJとして株式会社榮太樓本舗様と共にソニー銀行様の支援の下、クラウドファンディングと全国の児童支援団体向けのイベント支援事業を進めていきます。





様々な困難を抱える子供たちに、明日に踏み出す勇気と元気に繋がる、甘くて楽しい時間を届けたい！



公益財団法人つなぐいのち基金は、経済的貧困や家庭内暴力、保護者による育児放棄、病気や心身の障害など様々なハンデを抱える子どもが健全に育ち、夢や目標をもって自立できるための日本国内の児童支援活動を支えている公益法人です。

私たちは2012年4月から12年以上に渡って活動していますが、2024年の今も依然として児童を取り巻く環境は大変厳しいです。2019年から始まったコロナ感染症蔓延による経済格差拡大や、戦争、気候変動による世界的な不作などによる物価高騰などを背景に、国内で助けを必要とする子ども達も急増しています。

そんな中、児童支援事業における多くの活動資金助成や補助制度は、生活の確保や、進学・就労を条件としていることが多いです。しかし、心の不安などの何らかの社会的ハンデを抱える子どもたちは、明日に向けて一歩踏み出すにも安心できる環境や頼れる大人、明日への希望とチャレンジする勇気が芽生えてこそ、はじめて進学や就職に向けて頑張ることができるようになります。

そのために、私たちは、社会貢献活動と児童支援に想いある企業や団体と協力して、日本全国の児童支援団体と一緒に子どもたちに楽しい体験を届けます。今回は和菓子の老舗榮太樓本舗様と

支援総額

0円

0%

目標金額 300,000円

サポーター 0人

募集開始前

2024年10月01日 12時00分 から

募集開始前



公益財団法人 つなぐいのち基金
公益財団法人つなぐいのち基金

お問い合わせ

ホームページ



この活動はソニー銀行の認定プロジェクトです

SDGsに貢献する寄付型クラウドファンディング

GIVING for SDGs

sponsored by ソニー銀行

決済手数料はソニー銀行が全額負担しています。
あなたの想いを100%団体に届けます。

スポンサー企業からのメッセージ

■今回のプロジェクトのスポンサー企業『ソニー銀行』様からのメッセージ

このたびは「GIVING for SDGs sponsored by ソニー銀行」へのご参加、誠にありがとうございます。子どもたちの心身の健全な育成を図るため、児童福祉に関する調査研究や寄付事業、イベント等の啓蒙活動を通じ、児童の健全な人間形成に寄与するというつなぐいのち基金さまの活動は、とても大切な取り組みであると考えています。

このプロジェクトは、子ども食堂や社会的児童養護施設などの支援を必要とする全国の児童に向け、おしるこイベントなど地域とのつながりを強化できる楽しいイベント開催支援を目的とするものです。

ソニー銀行では、本プロジェクトを通じて子どもたちに楽しみながら人との交流を促していくとともにSDGsの目標である「No1 貧困をなくそう」「No2 飢餓をゼロに」「No11 住み続けられるまちづくりを」の実現に貢献できることを願っています。

2024年10月1日から2024年12月まで実施



今回共同企画を行っている『榮太樓總本舗』の想いについて



株式会社榮太樓總本舗の細田です。榮太樓總本舗は、自社独自の児童支援活動を続けていることもあり、昨年から『つなぐいのち基金』さんと子ども食堂や子供・若者の居場所で行うおしるこイベントを共に開催しています。そのような背景から、今回も共同で全国にある子供・若者向けに拡大した新たなイベントを企画することになりました。生きづらさを感じている子供たちに対して応援の手を差し伸べられることができ、大変嬉しいです。



おしるこの材料と、こだわりについて



榮太樓總本舗は日本全国で最も和菓子作りに適した素材を見つけ出し、最高の和菓子を作るために日々努めています。北海道の小豆から、沖縄の黒糖まで、選び抜いた最高の材料で最高に美味しい和菓子を作っているとのこと。この最高の体験を子供たちに届けます。



ソニー銀行がプロジェクトを広報をサポート

ソニー銀行のお知らせページ及び、ソニー銀行が運営するSony Bank GATEトップページにて、掲載していただいております。また、ソニー銀行ユーザー約50万人にプロジェクトの紹介メールを定期的を送付いたします。



GIVING for SDGs とは

手数料が全額免除されるクラウドファンディングサイト

GIVING for SDGsは寄付者の寄付金が100%届く社会課題解決型のクラウドファンディングです。

一般的なクラウドファンディングサイトでは9~20%の手数料が発生しますが、GIVING for SDGsでは決済手数料が全額免除されます。

※一部費用がかかりますので資料を最後まで確認をお願いします。

プロジェクト期間: 2024/5/01~2025/3/31

※上記の期間内でクラファンを実施される団体が対象です。

SDGs達成を目指す寄付型クラウドファンディング

GIVING for SDGs

sponsored by ソニー銀行株式会社

新たな冠基金の設立も視野に、企業協働プロジェクトを開始予定



つなぐいのち基金×榮太樓本舗の子供・若者応援の地域イベント開催

子供・若者と地域社会をつなぐ、イベント活動を続けています。

0 シェア 1 ボスト 1 LINEで送る n 通知を切る



当財団が取り組んでいる「子供・若者と地域社会をつなぐ」イベント活動の様子です。当財団は中間支援団体として今まで最小規模の事務局で受取寄付金の全額を児童支援活動団体に対する活動支援助成に資金を配分するなど、財源を効率よく児童支援活動に届ける活動に専念していました。

今年からは児童支援活動団体に対する組織基礎構築の伴走活動と共に、有志の企業とのコラボで児童・若者への直接的なアプローチを増やしています。

今月は子供たちの支援も熱心の老舗菓子屋 #榮太樓本舗 様にご提供くださった最高級国産材料で作ったおしるこを #子ども天国 のイベントで提供し、子供たちと社会の大人たちが繋がるイベントを開催させて頂きました。





今年度の助成事業におけるテーマは

「**小規模支援活動団体**」に対する支援強化」です。

■理由

：支援の必要な国内の児童が継続的な増加を背景に、新規の児童支援活動団体の活動も増えてきていると感じます。しかし組織化できていない地域の小規模団体の場合は、活動実績や法人化、事務処理能力の不足によって活動のための特に資源確保に苦勞をします。事業の継続性を厳格に評価すると、うまく組織が立ち上がった中～大規模組織に社会の資源と関心が集中しがちですが、当財団の今期助成事業においては小規模団体の活動継続支援に加点ポイントをおいて審査しました。

■小規模児童支援活動団体の特徴

：組織体制が任意団体になっていることも多く、通年の事業計画や財務計画がNPO法人並みには揃わない活動が多いです。その反面、地域有志の方々のボランティア参加によって成り立つことが多く、当財団からの少額助成支援効率は高いと考えています。

* 助成テーマに関わる今後の課題

：助成審査の基準確率のためにも、今後当財団が特に支援したい活動および支援の先に期待する社会的価値について議論の上で基準を設ける必要があるようです。

CITY OF YOKOHAMA

「ヨコラボ2024」企画概要

- 政策経営局 共創推進室 共創推進課
- 令和6年8月21日

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

4. 休眠預金セミナー:10月31日(木) 10:00~12:00

「休眠預金」という新たな可能性～ソーシャルインパクトを資金にかえる～

目的

- ① リビングラボ等の活動団体が直面している「活動資金の確保」について、「休眠預金等」の活用により資金的自立性と事業の持続可能性の確保に繋がる可能性があることを伝える。また、取組のソーシャルインパクトを効果的に伝えるためのポイントもアドバイスし、各取組の活動の可視化の支援を行う。
- ② リビングラボ連絡会としても開催

ターゲット

リビングラボ関係者、NPO等の活動団体、企業、市職員

登壇者

- ・一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)
- ・公益財団法人つなぐいのち基金
- ・一般社団法人 日本シングルマザー支援協会
- ・特定非営利法人KUSC

進行イメージ

休眠預金等の制度説明(JANPIA様)【30分】⇒分配団体の事例・課題(日本シングルマザー支援協会様)【20分】⇒竹山団地の事例・課題(KUSC様)【20分】⇒ソーシャルインパクトの重要性及び可視化のポイント(公益財団法人つなぐいのち基金)【20分】⇒質疑応答【15分】

PROGRAM

10/31
(木)

10:00~10:15 **オープニング** 主催者挨拶 松浦 淳(横浜市政政策経営局長)

(市民協働シンポジウム)

10:15~12:15 **ヤングケアラーに寄り添う社会へ ~ともに取り組む社会課題~**

登壇者 蔭山 正子(大阪大学 教授) 佐塚 玲子(特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター) 横山 恵子(横浜創英大学 教授)

(共創アクションセミナー)

13:00~14:30 **ぼくの/わたしのつよみをみつけよう ~個別支援級の児童とその保護者に向けた支援~**

登壇者 滝川 尚美(横浜市北山田小学校 校長) 小池 星多(東京都市大学 教授)
男澤 誠(株式会社スリーハイ 代表取締役) 水谷 裕子(NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク 理事長)
小林 隆志(キリンホールディングス株式会社) 籠倉 啓子(キリンビール株式会社) 鈴木 仁(都筑リビングラボ)

(ケアテック・オープン・ラボ横浜フォーラム)

15:00~16:30 **「おひとりさま」社会から見る誰もが安心して過ごせる社会とは**

第一部 基調講演・地域での取組紹介

登壇者 基調講演: 成本 迅(京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 教授、一般社団法人日本意思決定支援推進機構 理事長)
取組紹介: 黒澤 史津乃(一般社団法人 横浜イノベーション推進機構 代表理事、株式会社OAGウェルビーR 代表取締役)
横山 郁子(株式会社パーソナル・ナース代表取締役、個・孤の人生ケア会議内アドボケーター)
一宮 均(関内地区 民生委員、UR海岸通アパート自治会長)

第二部 「おひとりさま」社会から見る誰もが安心して過ごせる社会をテーマに関係企業からコメント

登壇者 <ケアテック・オープン・ラボ横浜 参画企業> 齋藤 亜弓(株式会社ウェルモ事業開発統括本部研究開発室)
菊池 友香(株式会社ツクイリレーションシップ推進本部チーフスペシャリスト) 大石 崇人(富士ソフト株式会社常務執行役員)
黒澤 史津乃(一般社団法人 横浜イノベーション推進機構 代表理事、株式会社OAGウェルビーR 代表取締役)
吉田政弘(株式会社土屋 土屋総研特別研究員) 他、企業版ふるさと納税寄附企業(予定)

(休眠預金セミナー)

10:15~12:00 **「休眠預金」新たな財源の可能性** **事前申込制**

登壇者 導入: 一般社団法人横浜イノベーション推進機構
小崎 亜依子(一般財団法人日本民間公益活動連携機構 出資事業部長) 芥田 真理子(一般財団法人日本民間公益活動連携機構 企画広報部長)
江成 道子(一般社団法人日本シンブルマザー支援協会 代表理事) 大森 西三郎(NPO法人KUSC 理事、神奈川大学サッカー部 監督)
藤森 茂和(NPO法人KUSC 事務局長、神奈川大学サッカー部 監督補佐) **ジョー・ミンギ**(公益財団法人つなぐいのち基金 常務理事)

(市民協働ラウンドテーブル)

13:30~15:00 **ヤングケアラーに寄り添う社会へ ~ともに取り組む社会課題~** **事前申込制**

アトリウムで開催する市民協働シンポジウムと連動したイベントです。講演を受けて、自分たちができることを参加者同士で語り合います。

横浜市役所1階
アトリウム

横浜市役所1階
市民協働推進センター
スペースAB

協働・共創
マインドの
醸成

社会課題の解決を目指す

こども
まんなか社会の
実現

ヨコラボ

YOKOHAMA Co-lab.
2024

GREEN×EXPO 2027に
向けた
機運醸成

参加無料
当日参加も
OK
※一部事前申込制

公民連携の「民」とは?
公民連携の「民」には
企業、NPO、教育機関と共に、
こども・若者、高齢者、障害者など
多様な市民の協力が
含まれています。

サーキュラー
エコノミーplusの
推進

公民連携の発信・対話の場

2024年 10/31(木)~11/3(日・祝)

企業、NPO、地域の団体など
様々な立場の人が話し合うことで、
地域の課題解決や新たな価値の創造につながります。
公民連携の重要性・可能性をぜひ体感してください。

会場

- 横浜市役所1階アトリウム
- 横浜市役所1階市民協働推進センター
スペースAB

主なイベント

- 10/31(木) 公民連携の協働・共創の最前線を学びつつ
地域課題解決に関する協働・共創
セミナー&パネルディスカッション
- 11/1(金) こどもまんなか社会の実現へ
「よこはま未来の作戦会議」&
社会課題解決を目指す公民対話
- 11/2(土) 目指せ GREEN×EXPO2027!
「食」をテーマにした公民連携の
PR・展示&「よこはま未来の実践会議」
- 11/3(日・祝) 公民連携による「Borderなきeスポーツ」
「インクルーシブeスポーツ大会」

主催 横浜市政政策経営局 共催(一部) 横浜市民協働推進センター、一般社団法人横浜イノベーション推進機構
横浜市市民局 公益財団法人横浜企業経営支援財団、株式会社ディー・エヌ・エー



お問い合わせ 横浜市政政策経営局共創推進課 TEL:045-671-4391



公益財団法人 つなぐいのち基金

常務理事 事務局長
Joe Mingi (ジョーミンギ)



藤森 茂和

芥田 真理子

小崎 亜依子

黒澤 史津乃



公式Facebookページの運用について



「いいね！」1,689件、フォロワー1,726件、と毎月30~50名のフォロワー増加中（発信力、リーチ力の強化）



ホームページ、名刺など、広報用制作物の刷新について

代表理事

鵜居 由記衣

Yukie Ui

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル3F
PHONE 03-6758-3980 MOBILE 080-9842-1543
E-MAIL info@tsunagu-inochi.org
https://tsunagu-inochi.org/

<https://www.facebook.com/tsunaguinochikikin/>



公益財団法人つなぐいのち基金は、

児童の健全な育成と自立のための児童支援活動に

活動資金の助成と伴走支援を行なっています

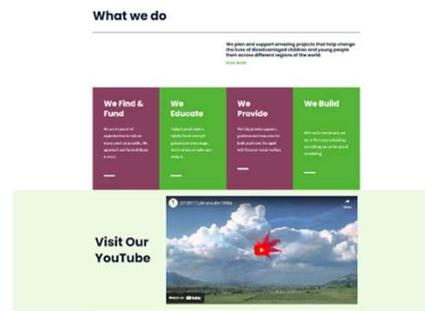
寄付(税控除型)の案内

受取寄付金の100%を児童の支援活動に
活用させていただきます。

<https://tsunagu-inochi.org/supportus/donation/>



こちらからも
アクセス



We support children and youth to reach their full potential!

The Tsunagu Inochi Foundation offers a variety of programs that focus on providing financial support and hands-on assistance to child support initiatives, preventing child labor and ending generations of poverty. Our programs are designed to address the needs of children who face economic, social, or educational barriers.



What we care for



Provide help for children, during tough situations

Our people building will ensure you are providing help during tough situations. We are here to help you during tough situations.



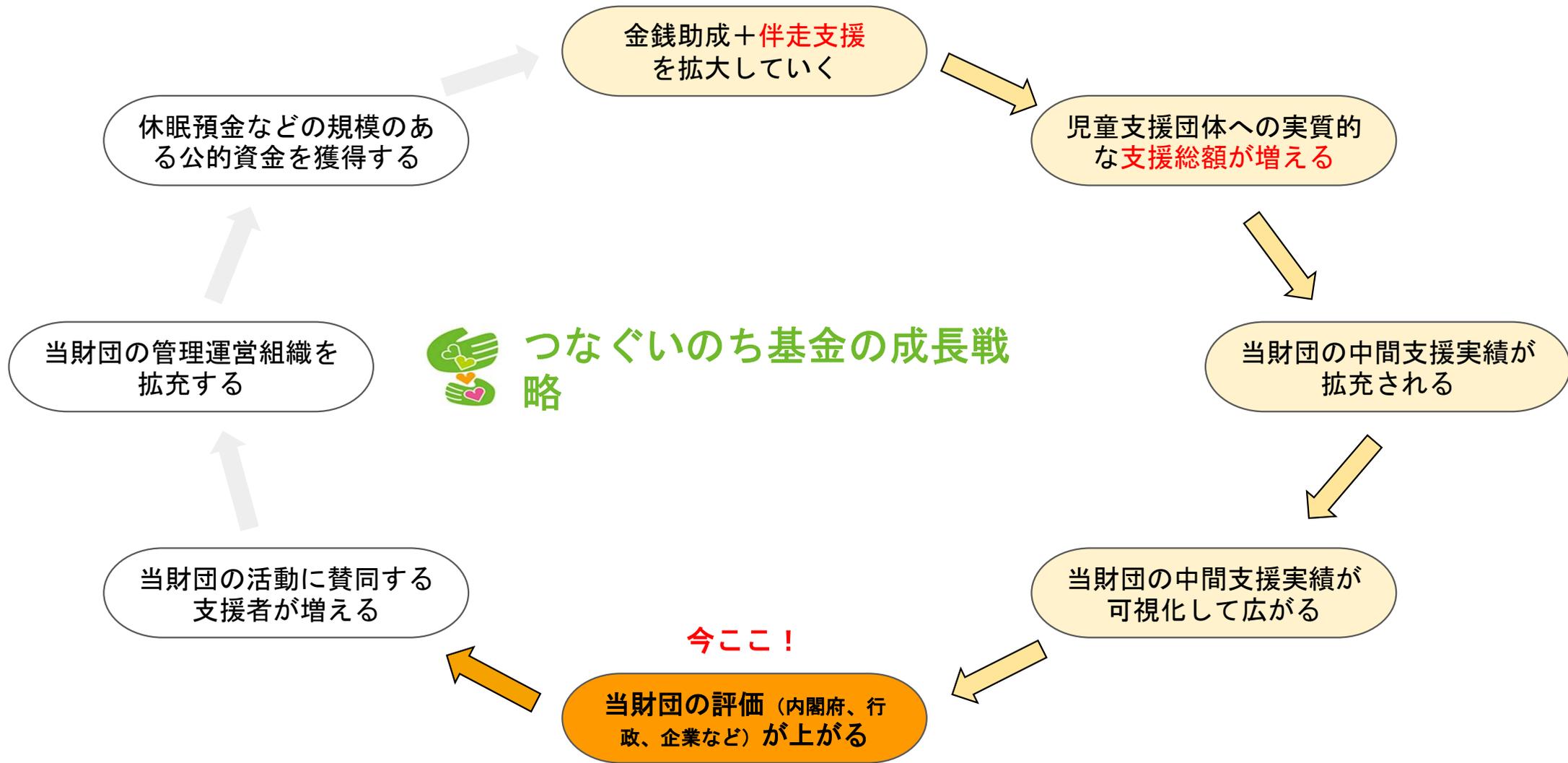
Helping spread support through generations

Our children and youth are reading together. We are here to help you during tough situations.



Bringing dreams within reach for children

The children hope that they can reach their dreams. We are here to help you during tough situations.





一般に向けた寄付募集について

READYFOR 実行者向け管理画面

公益財団法人つなぐいのち基金 

プロジェクト

活動報告

支援申し込み ▼

リターン

支援者

メッセージ ▼

ヘルプ

フィードバックを送る 

公開ページを見る 編集する



支援募集中 継続寄付 手数料8%+税・常設型

子供たちの明日に、あなたの想いを託してください。

このプロジェクトに対する支援金は、月ごとにまとめて翌月25日に振り込まれます。

マンスリーサポーター ①

2人

毎月の支援額 ①

11,000円/月

支援総額

172,000円

支援者数 ①

5人

訪問者数 ① [推移を表示](#)

47人

活動報告

作成する

活動報告

公開ステータス



民間の寄付プラットフォームの活用について



🏠 ホーム

📬 御礼をする

📄 活動報告する

📋 企業寄付受領履歴

📋 個人寄付受領履歴

📋 寄付金振込履歴



ようこそ
公益財団法人つなぐいのち基金

🔍 寄付入金番号で検索

サービスで絞り込む

2024-10

寄付入金番号	入金日/入	寄付金額	利用料	振込金額
20240930-KA07502306	2024-09-30	898円	269円	629円
20240830-KA07502306	2024-08-30	99円	29円	70円
20240731-KA07502306	2024-07-31	22円	6円	16円